



第1夜 ジョンルーカス “七夕ゴスペルナイト”

ジョンルーカス (シンガー・ゴスペルアーティスト)

ジャマイカ出身。2000年ALTとして初来日。2004年東北大学修士課程修了し、シンガーとし本格的な活動をスタート。2016年1月ジャマイカ観光親善大使就任。ゴスペルディレクターとし、全国13カ所にてゴスペル教室の講師を務め、全国の生徒数は、300名を超える。日本テレビ「のどじまん THE ワールド」へ出演。

モデル・パーソナリティー・リポーターとし、テレビ・ラジオにて幅広く活躍する一方、プロデューサー、ディレクターとしても番組制作等に取り組む。人気WebTV番組「レッツゴーwith John Lucas」絶賛放送中!

今回のステージのナビゲーターは、パーソナリティー、リポーター、ミュージックナビゲーターとして活躍中のHiroがゴスペルの世界へ皆様をご案内します。

今宵、ジョンルーカスの魂溢れる歌声をお楽しみ下さい。

第2夜 Apolonita /アポロニータ “バンドネオンとアルパ”

Apolonita (アポロニータ)

南米の楽器であるバンドネオンとアルパの異色デュオ。2017年4月に結成し、現在仙台を拠点として活動している。バンドネオンとは切り離せないアルゼンチン・タンゴや、中南米のハーブであるアルパの故郷パラグアイの音楽を中心に様々なジャンルのレパートリーに取り組んでいる。アルパのきらびやかで軽やかな響きと、バンドネオンの哀愁を帯びた音色の織りなす独特な音の世界が特徴である。

渡辺 公章 (バンドネオン)

6歳より矢野吉晴氏の下でピアノを学ぶ。筑波大学第一学群社会学類卒業。在学中フランスに留学、バンドネオン奏者ファン・ホセ・モサリーニに出会い、バンドネオンを学ぶ。東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。2015年より「吉田正記念オーケストラ」のバンドネオン奏者。2016年には新潟、北上、八戸で「左手のピアニスト」舘野泉氏と共演。現在は仙台を中心として各地で演奏活動を行い、またバンドネオンのレッスンも行っている。

渡辺 美和 (アルパ)

千葉県流山市出身。アルパ(中南米の竖琴)を内山裕子氏の手ほどきを受け弾き始める。宮城ではパラグアイ出身のアルパ奏者、ホセ・ルイス・バルボーサ氏に師事。2009年全日本アルパコンクールで銅賞を受賞。近年は宮城を中心として演奏活動に取り組み、またアルパのレッスンも行っている。

第3夜 族—yakara—with friends “和太鼓”

三浦 公規/石田 陽祐/千葉 響/With friends 高橋 勇弥(閃雷)

2008年「族—yakara—」が誕生しました。

誕生後、瞬く間にその活動エリアを広め SENDAI COLLECTION、みちのく YOSAKOI 等の大型イベント、クラブから学校の芸術鑑賞まで、さまざまなジャンルのアーティストとのコラボレーションや数々の舞台経験から演奏の度にその概念を塗り替えてきました。2011年、史上初となる「東北六魂祭」での演奏、松任谷愛介氏プロデュース「江差追分レクイエム」ではロンドンメトロポリタンオーケストラ、山下洋輔・浅野祥と共演したジルベスターコンサート「鎮魂と感謝」など震災復興を通し内外のアーティストとのコラボレーションを行いました。

今回は族—yakara—With Friends として出演します。